

香夏錦(こうかにしき)

登録番号：第522号

育成者：佐藤正光

登録年月日：昭和59年3月19日

来歴：「佐藤錦」と「高砂」の交雑

登録者：福島県伊達郡伊達町

実生

大字箱崎字前畑28

特性

■栽培特性

樹姿は若木のうちは中程度で、結果期にはいと開帳性となる。樹勢は中である。結実が良好であるので、樹勢の落ち着きは早い。花束上短果枝の着生は良好であり、花芽も多い。葉はやや長楕円形で、葉縁の波打ちは少ない。花は普通咲きである。

受粉樹としては、「佐藤錦」、「高砂」、「ナポレオン」等の品種が適する。「紅秀峰」とは同じ交配不和合群に属するので、交配不和合性である。

山形での開花期は4月末で「佐藤錦」より2日程度早い。また、熟期は6月17日頃で、「佐藤錦」より7～10日早く収穫される。

■果実特性

果実の大きさは6g程度で、果実の形は短心臓形である。果皮色は鮮紅色であり、着色の程度は中であるが、外観はつやがあり、美しい。果肉色は乳白色で、果肉内の着色は見られない。肉質は中、果肉の硬さは軟であり、果汁は多い。甘味、酸味は中程度で、食べやすい。

核は粘核、形は短楕円形で大きさは中である。核周囲の着色はない。

■病害抵抗性および栽培上の留意点

主要病害の灰星病抵抗性や裂果については「佐藤錦」と同程度と考えられる。結実が非常に良好であるので、結果過多にならないように注意し、樹勢は強めの管理をする。ただし、自家結実性ではないので、受粉樹は必要である。樹勢のやや弱い樹については摘らい、摘果を徹底する。

開花期が早いので、受粉樹との開花期の差に注意する。果肉は軟であるので、果皮着色のみで収穫期を判断しないようにし、過熟にならないように適期収穫に留意する。

■地域適応性

「佐藤錦」等の通常のアウトウ主要品種が栽培できる地域での栽培は可能である。結実が良好であるので、アウトウの結実不安定な場所に適する。平成8年の山形県における栽培面積は15.5haで、庄内地区を中心に栽培されている。

(西村幸一)